

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 599

政策体系	12	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 学校教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 1. 教育総 - 2. 事務局 現年		
事業名	教育研究委託事業				
細事業名	教育研究委託事業				
評価表作成者				教育委員会 学校教育課	山田 啓亮

1. 事業の概要

「保・幼・小・中学校連携」の教育研究事業を実施する。
保・幼・小・中連携の観点から、学びの連続に係る研究を中学校区ブロック毎に委託した。
また学校提案型研究委託事業も実施した。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

未来を担う人材育成という観点から、連携した質の高い学力の育成のための研究・取組

②事業を実施する必要性

未来を担う人材育成という観点から、各ブロックにおける地域性や独自性を基礎として、円滑な学びの接続を図るための施策として必要。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	2,249	5,539	3,300	2,028	910	1,000	1,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	1,650	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,249	5,539	1,650	2,028	910	1,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.33	0.30	0.33			
人件費	千円	—	1,958	1,796	2,037			
事業費総額	千円	—	7,497	5,096	4,065			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

各中学校ブロックに実施988,362円
園部 109,748円
八木 278,614円
日吉 300,000円
美山 300,000円
学校提案型モデル事業23園・校
884,850円

5. 事業結果の概要

保・幼・小・中連携の質の高い学力を育成するための研究
公開授業
合同研修会（講演会）
研修資料の作成

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

学校提案型研究委託事業は各校・各園の裁量による研究委託事業としての位置づけであった。今後、学校教育の充実した教育実践を図る上においても、保・幼・小・中の連携事業は継続していく。平成23年度以降の予算措置については、実績効果を踏まえ、選択・集中の観点から見直し、検討を行う。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

市の重点事項に照らした、各校・各園の裁量による研究委託事業として位置づけられている。各校園の実情に応じた効果的な取組実績は、市内児童生徒に還元されていくものである。今後の、学校教育の充実した教育実践を図る上においても、市内各校園への波及効果を見ることから今後も必要な事業である。平成22年度以降の予算措置については、実績効果を踏まえ、選択・集中の観点から見直し、検討を行う。

■平成21年度の所属長評価

市の重点事項に照らした、各校・園長の裁量による研究委託事業として位置づけられており、各校園の実情に応じた効果的な取組実績は、市内児童生徒に還元されていくものとする。今後の、学校教育の充実した教育実践を図る上においても、市内園校への波及効果を見ることから今後も必要な事業であるとする。なお、委託事業であることから、その経費の効果的な活用が図られるよう、計画・実践・評価に関し、一定の査定を行う事務手続きを検討した。